

平成30年度事業報告

特定非営利活動法人

産業・環境創造リエゾンセンター

平成30年4月1日～平成31年3月31日

1 概要

今年度も、川崎市との連携を緊密にし、会員企業の活発な交流のもとに、「温暖化防止対策」、「地域防災力の一層の強化とエネルギー対策の取組」、「地域環境改善への取組」、そして、「市民活動及び他地区との交流」を推進し、「スマートコンビナートの構築と川崎臨海部における情報発信」を目指して、活動を進めた。

2018年3月末に、川崎市は、川崎臨海部が川崎市の「力強い産業都市づくり」の中心の役割を担い、これからの日本の成長を牽引する「産業と環境が高度に調和する地域」であるとして、30年後を見据えた川崎臨海部の目指す将来像やその実現に向けた戦略、取組の方向性を示した「臨海部ビジョン」を策定した。そして、この臨海部ビジョンを具体的に推進していくため、直近10年以内に取り組み13のリーディングプロジェクトを位置づけ、社会情勢の変化に柔軟に対応しながら最も効果的に取り組んでいくとした。

当リエゾンセンターでは、2018年5月から会員企業と市関係局職員による「臨海部ビジョン研究会」を毎月開催し、各リーディングプロジェクトについて、着実に検討を進めた。

また、2016年度に発足した「低CO2川崎ブランド等推進協議会」に参画し、川崎市が推進する「低CO2川崎ブランド認定制度」及び「川崎メカニズム認証制度」への支援活動を行った。さらに、「川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会」では、特に冠水対策を継続課題としており、活発な議論が行われた。

2018年10月30日には、第9回臨海コンビナート都市連携シンポジウムを開催し、山口大学大学院の稲葉先生に「コンビナート新時代～IoT、水素、地域間連携」と題する基調講演をしていただいた。パネルディスカッション「スマートコンビナートを目指して」では、国際競争力強化や新しいコンビナートに向けた活発な議論が展開され、実り多いものとなった。前回は、大分コンビナート企業協議会からご参加いただいたが、今回は、大阪堺泉北臨海企業連絡会からご参加いただくなど、他のコンビナート地域との交流が拡大し、全国的に認知されたシンポジウムになってきている。

また、川崎市から継続して受託している「川崎市環境・産業交流コーナー」の管理運営を実施するとともに、市民等との交流事業である「臨海部企業見学会」を共催した。2019年2月に、岡山県水島コンビナート活性化検討会ワーキンググループによる当センターの事業活動調査及び会員企業の先進事例調査が行われた。これまでの活動実績と現在の取組から、川崎臨海部における産学公民連携組織である当NPO法人産業・環境創造リエゾンセンターは、全国的に認知されている。

2 事業活動内容と成果

(1) 自主事業

ア 定常事業

(ア) 定例会・リエゾン交流会（3回実施／年）

「定例会」は会員参加によるNPO法人の運営を目指し、活動計画・報告に対する意見交換を通して事業展開を図る目的で実施するもので、これまでに引き続き、会員企業の現地視察要望を踏まえて、臨海部及び関連企業の新たな取組について、川崎市及び神奈川県職員の皆様にも参加いただき、会員と行政等との情報・意見交換を目的とする「リエゾン交流会」として視察見学会を実施した。

<通算第37回交流会>

2018年4月19日（木）視察研修会（参加者34人）

- ・JXTGエネルギー(株)横浜綱島水素ステーション・スイソテラス（港北区綱島東）

<通算第38回交流会>

2018年8月28日（火）視察研修会（参加者 日本電気(株)31人

川崎市コンベンションホール34人）

- ・日本電気(株)玉川事業場9号館（中原区下沼部）及び川崎市コンベンションホール（中原区小杉町）

<通算第39回交流会>

2019年1月29日（火）視察研修会（参加者30人）

- ・東亜建設工業(株)技術研究開発センター（鶴見区安善町）

(イ) 川崎市との政策懇談会（2回開催／年）

臨海部に係る最新の動向や市の政策課題・予算措置等について、役員・正会員と川崎市関係局幹部との活発な意見交換を行った。

<第1回> 2018年11月15日（木）川崎市産業振興会館

- ・川崎市6局・本部からの情報提供（環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、経済労働局）

環境局：「事業活動地球温暖化対策指針」の変更、2020TDM推進プロジェクト、マイクロプラスチックに関する国内外の動向について

まちづくり局：川崎駅周辺地区の取組状況について

建設緑政局：京急大師線連続立体交差事業の事業概要、羽田連絡道路の工事、川崎縦貫道路と外環道（東名～湾岸間）の検討状況、シェアサイクル実証試験の実施について

港湾局：最近の川崎港の動向について

臨海部国際戦略本部：臨海部の活性化推進、国際戦略拠点の整備推進について

経済労働局：第11回川崎国際環境技術展、新川崎・創造のもり AIRBICのご案内について

- ・会員企業からの情報提供
日本通運(株)、東京電力エナジーパートナー(株)

<第2回> 2019年3月18日(月) 川崎市産業振興会館

- ・川崎市6局・本部からの情報提供(環境局、まちづくり局、建設緑政局、港湾局、臨海部国際戦略本部、経済労働局)からの情報提供
環境局:川崎市災害廃棄物等処理実施計画(案)、廃棄物発電を活用したエネルギー循環型ごみ収集システムについて
まちづくり局:川崎駅周辺地区の取組状況について
建設緑政局:京急大師線連続立体交差事業概要、シェアサイクル実証実験の実施の開始について
港湾局:平成31年度川崎市予算(港湾局関連)について
臨海部国際戦略本部:平成31年度主要事務事業について
経済労働局:平成31年度経済労働局主要事業、Kawasaki-NEDO Innovation Center、「第11回川崎国際環境技術展/未来を創る川崎イノベーション展」の開催結果について
- ・会員企業からの情報提供
(株)浜銀総合研究所、JXTGエネルギー(株)川崎製油所

(ウ) 川崎市・リエゾンセンター定例情報交換会(毎月1回、早朝開催 10年目)

- 参加者 川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 課長、係長、担当職員
川崎市経済労働局国際経済推進室 課長、係長、担当職員
川崎市環境局地球環境推進室 課長、係長、担当職員
当NPO法人 正副幹事長、専務理事、事務局
*臨海部関連事業情報等を交換し、相互協力により事業推進を図っている。

(エ) 川崎市との「臨海部活性化研究会」(毎月1回開催 2012年1月から実施 6年目)

- 参加者 川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 課長、係長、担当職員
(川崎市経済労働局国際経済推進室 課長、係長、担当職員)
(川崎市環境局地球環境推進室 課長、係長、担当職員)
当NPO法人 幹事7人、専務理事、顧問、主任研究員
全会員企業に呼びかけ「臨海部ビジョン」の直近10年以内に取り組む13のリーディングプロジェクトの検討に取り組んだ。
また、川崎市から「新たな環境基本計画の策定のためのワークショップ」について参加協力依頼があり、11月の研究会では、初めての試みとして、「2050年の川崎市の姿を見据えながら『かわさきのミライの環境』を考えるワークショップ」を開催した。
*「臨海部活性化研究会」は、川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部と幹事会

メンバーで構成している。検討事項によって、全会員企業、経済労働局国際経済推進室、環境局地球環境推進室、その他川崎市各局の参加をいただいている。

(オ) 会報の発行（年 3 回発行）

<第 31 号>（2018 年 9 月 28 日発行）

第 14 回通常総会、役員の変更、平成 30 年度第 1 回川崎臨海部再生リエゾン推進協議会、臨海部ビジョン研究会、交流会報告、お知らせ

<第 32 号>（2018 年 12 月 10 日発行）

臨海コンビナート都市連携シンポジウム 2018、役員の変更、平成 30 年度第 1 回川崎市との政策懇談会、お知らせ

<第 33 号>（2019 年 3 月 28 日発行）

第 11 回川崎国際環境技術展、平成 30 年度第 1 回川崎臨海部活性化推進協議会、平成 30 年度第 2 回川崎市との政策懇談会、交流会報告、お知らせ

*会報は、会員向けの当 NPO 法人に係る広報として、NPO 法人活動状況、会員企業の臨海部関連情報などを提供している。

イ リエゾン研究・検討会

(ア) 川崎臨海部道路等に関する企業・行政懇談会

臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定、意見交換、とりわけ、各企業に関連する道路問題や豪雨等による道路冠水対策について、より掘り下げた検討を行っている。

<通算第 20 回> 2018 年 9 月 4 日（木）JA セレサみなみビル 4 階会議室

臨海部付近における道路工事等の進捗状況と今年度の工事予定

*この懇談会は、臨海部道路を中心とする冠水問題を契機として川崎市建設緑政局の呼びかけにより 2009 年 11 月に発足した。

(イ) 会員企業の参加するその他の主な会議

a 京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議

(目的) 川崎臨海部を中心とするコンビナートにおいて、企業間連携による高度化の取組について検討し、その事業化を図ることにより、高付加価値で、環境共生型のエネルギー産業の集積をめざす。

(設置) 2008 年 1 月

(構成員) 臨海部立地企業、経済産業省（資源エネルギー庁、関東経済産業局）、神奈川県、川崎市、横浜市、当 NPO 法人

オブザーバー 石油コンビナート高度統合運営技術研究組合（RING）

(事務局) 神奈川県政策局自治振興部地域政策課、川崎市経済労働局国際経済推進室

<第 1 回>2018 年 5 月 25 日（金）

(議事) 平成 29 年度の活動報告（事業報告・収支決算・決算監査）、平成 30 年度の活

動について（事業計画（案）及び収支予算（案））、平成 30 年度監事の選任について

（企業主導型保育事業活用共同保育所設置検討ワーキンググループについて）

（国・自治体等からの情報提供）石油コンビナート高度統合運営技術研究組合（RING）、経済産業省製造産業局素材産業課、経済産業省資源エネルギー庁石油精製備蓄課、川崎市

<第 2 回>2018 年 10 月 23 日（火）

（議事）ワーキンググループ報告 企業主導型保育事業活用共同保育所設置検討ワーキンググループ、ユーティリティ共有化ワーキンググループ、LNG 冷熱活用ワーキンググループ

新たな取組検討のためのニーズ把握アンケート実施報告

（国・自治体等からの情報提供）神奈川県、川崎市、NPO 法人産業・環境創造リエゾンセンター

（見学会）千代田化工建設(株)「Plant Digital Twin」

<第 3 回>2019 年 3 月 26 日（火）

（議事）平成 30 年度の活動について 活動概要報告 企業主導型保育事業活用共同保育所設置検討ワーキンググループ活動報告等 第 11 回川崎国際環境技術展／未来を創る川崎イノベーション展開催結果報告

平成 30 年度監事の変更について

平成 31 年度の活動について

その他報告事項について

座長退任について

（国・自治体等からの情報提供）経済産業省素材産業課、神奈川県、株式会社自律制御システム研究所

b 川崎臨海部防災協議会

（目的）東日本大震災の経験を踏まえて、川崎臨海部における災害の未然防止や発生した災害の拡大防止を図るとともに、市民及び従業員等の安全確保及び二次災害の防止、企業の事業継続性の確保などの課題について協議・検討する。

（設置）2012 年 1 月

（構成員）臨海部立地企業、臨海部関連産業団体ほか及び川崎市

臨海部各島を代表して会員企業 6 社－旭化成(株)、J F E スチール(株)、昭和電工(株)、J X T G エネルギー（株）川崎製油所・川崎製造所、東亜石油(株)、富士電機(株)及び当 NPO 法人

（事務局）川崎市総務企画局危機管理室、臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部
地域防災力の充実・強化、防災対策の進捗状況、そして、今後の取組等が検討された。また、平成 30 年度川崎臨海部広域防災訓練（第 5 回目）が実施された。

<第 1 回> 2018 年 5 月 28 日（月）

<第2回> 2018年11月26日(月)

<孤立化対策訓練>2019年2月5日(火)

○船舶を活用した帰宅困難者等の川崎港から横浜港への搬送訓練

(川崎港東扇島地区⇒横浜港中央地区)

<平成30年度川崎臨海部広域防災訓練>2019年3月7日(木)

訓練内容

○孤立化対策訓練—地震発生に伴い扇島が孤立した想定で、船舶を用いて、扇島から渡田・扇町までの搬送訓練

○情報受伝達訓練

c 低CO₂川崎ブランド等推進協議会

川崎市内には、優れた環境技術が集積しており、その環境技術を活かす取組の一つとして、川崎市は、低CO₂川崎ブランド及び川崎メカニズム認証制度を実施してきた。この取組は、経済の活性化だけでなく、市民生活を豊かにし、温室効果ガスの削減など温暖化対策に寄与している。本協議会は、企業、市民及び行政の協働により、川崎から地球規模の温室効果ガス排出削減に向けた取組を推進している。

(設置) 2016年4月

(構成員)(委員) 足立芳寛東京工科大学教授、公益財団法人川崎市産業振興財団理事長、川崎商工会議所副会頭、当NPO法人専務理事、川崎市環境局長

(会計監事) 川崎信用金庫常務理事

<第1回> 2018年5月28日(月)

<第2回> 2018年12月7日(金)

<かわさき低CO₂ビジネス交流会> 2019年3月14日(木)

認定・認証事業者プレゼンテーション

講演 自動運転技術が変える新たなモビリティ

慶応義塾大学大学院教授 大前 学 氏

ウ 情報発信事業

(ア) 第9回「臨海コンビナート都市連携シンポジウム2018」の開催

首都圏コンビナート地域は、引き続き、日本経済を牽引していくため、国際競争力の強化、安全・安心の確保、地球温暖化防止等への一層の対応、事業環境の大きな変化への対応など、緊急の課題に直面している。このシンポジウムでは、さらなる連携、水素社会への対応、人材の確保と育成、そして、IoT・ビッグデータ・AIの活用などについて議論を深め、新しいコンビナート、スマートコンビナートの構築に向けて、新時代への道を探った。

2018年10月30日(火) 13:30~17:00

(場所) 川崎市産業振興会館 1階 大ホール

基調講演 「コンビナート新時代~IoT、水素、地域間連携」

山口大学大学院技術経営研究科教授 稲葉 和也 氏
パネルディスカッション 「スマートコンビナートを目指して」
コーディネーター

NPO法人産業・環境創造リエゾンセンター理事長 足立 芳寛
パネリスト

茨城県鹿島コンビナート 三菱ケミカル株式会社鹿島事業所
企画管理部 企画グループ グループマネジャー 中原 学 氏
千葉県京葉コンビナート 出光興産株式会社千葉事業所
上席執行役員 千葉事業所長 前澤 浩士 氏

神奈川県京浜コンビナート 川崎市臨海部国際戦略本部担当理事 中村 健 氏
石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 技術部長 板垣 秀人 氏

主催 当 NPO 法人 共催 川崎市

後援 関東経済産業局、神奈川県、茨城県、千葉県、川崎商工会議所、公益財団法人川崎市
産業振興財団、石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 (RING)、(株)化学工業
日報社

(イ) 他のコンビナートとの交流等

平成 30 年度コンビナートシンポジウム (主催：中国経済産業局 後援：岡山県、山
口県、倉敷市、周南市、公益社団法人山陽技術振興会、石油コンビナート高度統合運営
技術研究組合 (RING)、石油化学工業協会、石油連盟、一般社団法人日本化学工業協
会)

2019 年 1 月 23 日 (水) (場所) 岡山県倉敷市

テーマ「ここまで進んだコンビナート連携、そして新たなステージへ」

当 NPO 法人事務局も参加し、他コンビナート関係者との交流を図った。

(ウ) 市民・事業者意見交換会の実施

川崎市地球温暖化防止活動推進センターとの協力事業として、「市民と事業者の環境の
取組―第 6 回エコ・クロスマッチング」(6 月環境月間の取組事業)に当 NPO 法人事務
局も参加し、市民、事業者との意見交換を行った。また、1 か月間のパネル展示に当 NPO
法人及び会員企業の活動状況の紹介パネルを提供した。

<第 6 回エコ・クロスマッチング>

2018 年 6 月 29 日 (金)

(場所) 高津市民館 CC かわさき交流コーナー・第 1.2 会議室 参加者 約 40 人

(エ) 展示会等への出展

a 第 11 回川崎国際環境技術展

2019 年 2 月 7 日 (木) ~8 日 (金) 10:00~17:00

(場所) カルッツかわさき (川崎区富士見)

第 11 回目を迎え、これまでに引き続き、「川崎市経済労働局」及び「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議(事務局 神奈川県・川崎市)」との連携ブースとして出展した。会員企業の地球温暖化防止への取組をはじめ、CSR活動に係るレポートを展示した。連携ブースには、市民、企業、行政関係者、学生など多くの来場者があった。

(2 日間で約 530 人) 併せて臨海部に関わるクイズを実施した。(回答 265 人)

また、この第 11 回川崎国際環境技術展において、「低 CO2 川崎ブランド 18」認定結果発表会が行われ、次の会員企業が認定を受けた。

(株)クレハ環境、J F E スチール(株)

この、認定結果発表会において、低 CO2 川崎ブランド等推進協議会会長の足立芳寛理事長から審査結果の講評と「COP24 と ESG 投資の拡大」と題する講演が行われた。

b 川崎区企業市民交流事業推進委員会

「知ろう、学ぼう、かわさき市民企業交流 Day」

2018 年 8 月 4 日 (土) 10:00~15:00

(場所) 川崎ルフロン 1 階イベントスペース

会員企業の東京ガス(株)川崎支店が「廃ガス管を使って万華鏡を作ってみよう！」及び昭和電工(株)川崎事業所が「ドライアイス実験教室」の体験型プログラムを提供した。

また、J F E スチール(株)東日本製鉄所京浜吹奏楽部によるミニコンサートが行われた。東京ガス(株)川崎支店からは、～パラスポ競技体験～競技用義足体験！及び「清水一二氏写真展」が提供された。さらに、当 NPO 法人及び会員企業の活動状況の紹介パネルを展示した。

(オ) ホームページを通じた情報発信等

ホームページを通じて、毎月「会員企業の最新の動向」として、会員企業の事業活動に係る最新情報を発信するとともに、新聞各社にこの「会員企業の最新の動向」を毎月提供し、最新の事業紹介を行った。

*「会員企業の最新の動向」—各社のホームページ掲載事項を、「技術革新」「国内外展開」、「CSR」の視点から毎月とりまとめた。2012 年 1 月から実施。

(カ) その他

川崎の歴史と文化を識る会・NPO 法人高津区文化協会主催

「元気な川崎を知ろう！ PART-VIII」

講座(第 1 日) 平成 30 年 7 月 14 日(金) 高津市民館会議室

「工都かわさき過去・現在・未来～工都かわさきの誕生」

講師 瀧田顧問

(2) 受託事業

川崎市から次の 2 事業を受託した。

ア「川崎臨海部再生リエゾン協議会（2018年7月「川崎臨海部活性化推進協議会」に名称変更）」運営等業務（臨海部国際戦略本部）

これまでに引き続き、この推進協議会の事務局として2回の協議会開催・運営を行った。

<平成30年度第1回川崎臨海部再生リエゾン協議会>

2018年7月20日（金）15:00～17:00

（場所）川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室(川崎区殿町)

（議題）・臨海部ビジョン策定と今後の取組について

「臨海部ビジョン」の策定について

「臨海部ビジョン」の実現に向けた今後の進め方

協議会構成員の拡大について

名称変更・規約改正について

・リーディングプロジェクトに関する取組について

新産業拠点形成に関する取組 キングスカイフロントネットワーク

協議会

企業活動見える化に関する取組 東亜石油(株)

働きたい環境づくりに関する取組 味の素(株)

<平成30年度第1回川崎臨海部活性化推進協議会>

2019年2月28日（木）15:00～17:00

（場所）川崎市生命科学・環境研究センター1階大会議室(川崎区殿町)

（議題）・臨海部ビジョンの進捗状況について

臨海部ビジョンについて及び具体化に関する取組状況

・リーディングプロジェクトに関する取組について

リエゾン研究会での6つのリーディングプロジェクトの取組

働きたい環境づくりに関する取組

緑地創出に関する取組

職住接近に関する取組

・今後の進め方について

臨海部ビジョン推進に関する今後の進め方

交通機能強化プロジェクト 臨海部地区における「検討の場」の設置

新産業拠点形成プロジェクト 川崎臨海部活性化推進協議会分科会の

設置

・情報提供 環境関連相談トータルサポートについて

イ 「川崎市環境・産業交流コーナー」管理運営業務（経済労働局）

これまでに引き続き、会員企業及び臨海部企業への環境への取組を中心とした活動の交流・広報の場として、また、川崎市の関連イベントの紹介の場として、川崎市産業振興

会館 12 階の「川崎市環境・産業交流コーナー」の管理・運営を行った。

さらに、市民等との交流事業として川崎市地球温暖化防止活動推進センター事業に共催して 2 回の工場見学・意見交換会を実施した。

＜第 1 回＞2018 年 8 月 2 日（木）夏休み自由研究親子見学会 参加者 42 人

（見学先）川崎市巡視船「おおぞら」乗船（川崎港）

浮島処理センター・資源処理施設（川崎区浮島町）

クロノゲート（ヤマトグループ物流ターミナル）（大田区羽田旭町）

＜第 2 回＞2018 年 10 月 4 日（火）大人の社会科見学会 参加者 35 人

（見学先）味の素(株)川崎工場（川崎区鈴木町）

信号機材(株)（中原区市ノ坪）

また、第 11 回川崎国際環境技術展に出展し、市民や他都市からの来場者に対して、会員企業を中心とする臨海部企業の実績を紹介し、広く広報した。ブース来場者は、2 日間で約 530 人であった。

（3）各種協議会、委員会等への参加

次の各種協議会、委員会等に参加し、川崎市等との連携のもと、それぞれの目的達成に向けて活動した。

ア 「川崎温暖化対策推進会議（CC 川崎エコ会議）」（事務局 川崎市環境局地球環境推進室）

会長 足立芳寛理事長、理事（会員企業 5 社—味の素(株)、J F E スチール(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、J X T G エネルギー(株)川崎製油所）

運営委員会 委員長 菅原専務理事、委員（内、会員企業 2 社—東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)）

CC 川崎エコ会議シンポジウム（2018 年 11 月 8 日（木））

スマートライフスタイル大賞表彰式 受賞団体の取組事例発表

受賞団体によるパネルディスカッション

コーディネーター 足立芳寛理事長 パネリスト 受賞団体

イ 「低 CO2 川崎ブランド等推進協議会」（公益財団法人川崎市産業振興財団・川崎商工会議所・当 NPO センター及び川崎市で構成） 2016 年 4 月発足

*川崎市と産業支援団体等が連携し「低 CO2 川崎ブランド」及び「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証を行うとともに、認定・認証製品等のより一層の普及促進を図る活動を展開した。

委員長 足立芳寛 東京工科大学教授（併せて審査部会委員長）

委員 菅原専務理事（併せて運営・推進部会委員）

ウ 「かわさきコンパクト委員会」（事務局 川崎市環境局地球環境推進室）

副委員長 瀧田顧問

川崎市が 2006 年に国連グローバルコンパクトに参加したことを踏まえて委員会（5

名で構成)が設置され、今年度は3回の委員会と参加会員(ビジネスコンパクト19社、市民コンパクト21団体)による交流等を通じて、環境問題への取組などについて理解を深めた。

- <第1回委員会> 2018年6月6日(水)
- <第2回委員会> 2018年11月26日(月)
- <第3回委員会> 2019年3月11日(月)
- <交流会> 2018年8月30日(木)
- 2019年3月11日(月)

かわさきコンパクト参加会員企業7社

旭化成(株)、味の素(株)、JXTGエネルギー(株)川崎製造所、昭和電工(株)、(株)デイ・シイ、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)

エ 「川崎国際環境技術展実行委員会」(事務局 川崎市経済労働局国際経済推進室)
監事 足立芳寛理事長 企画部会(会員企業5社-味の素(株)、JXTGエネルギー(株)川崎製造所・川崎製油所、JFEエンジニアリング(株)、JFEスチール(株)、東京ガス(株))

オ 「川崎区企業市民交流事業推進委員会」(事務局 川崎区まちづくり推進部地域振興課)
委員 雑賀事務局長
(会員企業)7社-味の素(株)、JXTGエネルギー(株)川崎製油所・川崎製造所、JFEスチール(株)、昭和電工(株)、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、富士電機(株)

(4) その他

今年度の川崎市による優れた環境技術・製品等の認定、認証、表彰に係る会員企業は次のとおりとなっている。

低CO2川崎ブランド18

認定2社 2件

(株)クレハ環境 「廃棄物焼却時の廃熱を利用した発電設備を有する産業廃棄物処理」

JFEスチール(株) 「建築構造用高性能590N/mm²級TMCP鋼材『HBL®440』」

(2009年度からの会員企業累計13社・28件、全市合計80件)

3. 運営体制等

(1) 役員は11名体制のもと、理事長を中心に、川崎市との政策懇談会をはじめとするシンポジウムの実施等当NPO法人の重要な事業において主要な役割を担った。

(2) 会員数(2019年3月末現在)

団体会員 21 社（内 1 社は 2 事業所 今年度、東京電力エナジーパートナー(株)が加入した。）

個人会員 14 人（今年度 1 人が加入した。）及び賛助会員 2 社

(3) 幹事会は、引き続き次の 7 社で運営した。会合は 8 月を除き毎月 1 回開催した。当 NPO 法人の事業活動の企画・運営全般にわたり協議、意見交換を行い、事業の円滑かつ効果的な推進に努めた。

・幹事長 東京電力パワーグリッド(株) ・副幹事長 東亜石油(株)

・幹事 JFEスチール(株)、(株)デイ・シイ、JXTGエネルギー(株)川崎製油所、東京ガス(株)、(株)浜銀総合研究所